



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者

執行委員長 針谷 歩

2022/7/28 No.10

八地申3号

青梅線「青梅～奥多摩」間の安全安定 輸送確保に向けた緊急申し入れ提出！

7月12日、宮ノ平、日向和田間で倒竹が発生し、大きな輸送障害が発生しました。当日は埼玉県を中心に関東各地で大雨が発生し、それに伴い沿線付近の草木が線路側に傾倒したことによって発生したと考えています。

現状においても青梅奥多摩間においては多くの草木が生い茂っており、さらに重大な輸送障害が発生すると危惧しています。また過去には同線区の倒木により重大な事象も発生しています。

2011年9月2日14:23頃、古里～川井間走行中の1414デの前面に倒木が衝撃し、前面ガラスを貫通しました。幸いな事に助士側に対して貫通しましたが、あわや運転士やお客さまの怪我や命に関わる重大な事象でした。

一方、設備職場で働く組合員も強い危機感を示しています。「管理は電力技術センター、しかし伐採は土木技術センターとなっている」「他技術センターからも電力に依頼がくるので直轄でやったり、危ないところがあれば自主的に伐採を行っているのが実態」「信号や特発などは信号の区分であるが、電柱にひっかかっているから結局電力技術センターで作業し、他技術センター区分エリアも対応していることもある」という声を聞くことができました。

以上を踏まえ、八王子地本は支社に対して以下を**緊急で申し入れ、受理**されています。

- 1、 青梅線沿線の草木を早急に伐採し、安全確保に努めること。
- 2、 現在の危険木や近接木、近接竹の現状を明らかにし、乗務員申告等で運転保安上対処を要する情報を得た際は、直轄、外注を問わず速やかに対処すること。そのうえで、各系統の伐採区分の明確化を図り、臨機応変に伐採できる仕組みを構築すること。

命にも関わる重大な案件です。

系統を越えて安全と安定輸送確保に向けて全力で解決していきます！